



## 教育理念・目的

### 理念

創造性豊かな未来を築くための、デザインとテクノロジーを統合する革新的クリエイターの養成。

### 目的

想像力・創造力・実現力・協働力を備えた、デザイン分野の多種多様なプロフェッショナルを育てる。



## ディプロマポリシー（DP）

工学部のディプロマポリシーを加味して、総合デザイン学科では、下記に示す能力を備え、かつ所定の単位を修得した学生に対して、学士（工学）の学位を認める。

### DP1：デザインを立案する力

鋭敏な感性と論理的な思考、広範な情報収集分析力を身に付け、デザインを企画立案できる。

### DP2：デザインを遂行する力

堅実な設計技術力・伝達表現力と機敏な判断力を身に付け、デザインのプロジェクトを推進できる。

### DP3：デザインを現実化する力

最新の工学知識と技術の柔軟な運用力を身に付け、デザインを現実化、さらに未来化できる。

### DP4：デザインで関係付ける力

人間、自然、社会の関係性の繊細な読解力を身に付け、デザインでそれらを結び付けることができる。



## カリキュラムポリシー（CP）

前段のディプロマポリシーを達成するため、次のような教育課程を編成する。

- （1） デザインは、自ら製作物を作る過程においてのみ習得できるものという理念により、1年次から3年次まで週4コマの演習を実施する。この演習を通して学生は他科目で学んだ知識・技術を実際に活用し、企画から製作までを体験する。
- （2） 総合デザインの広範な知識・技術を身に付けるためにデザイン技法系、メディア表現、CAD系、設計系、電気／情報系の講義・演習を実施する。
- （3） 資格取得のための講義・演習を置く。



## カリキュラムの構成

### 1. 全体の概要

本学科のカリキュラムは、1年次から3年次までを貫く「総合デザインプロジェクト」を基軸に構成される。そして、社会での実践に近いスキルを身に付けるために、プロダクト分野と空間分野のハイブリッドな知識・理論の授業、手作業表現とデジタル技術の授業、デザインに役立つ工学知識と技術の授業がレベルに応じて配置される。3年次からはよりプロフェッショナルを目指し、分野ごとに学修を深め、4年間の集大成である卒業研究へとつながる。

## 2. 学びの領域について

(1) プロダクトデザイン	日用品から家電、自動車、ロボットに至るまで、さまざまなプロダクトデザインのデザイン手法を学び、手作業からデジタルテクノロジーまでさまざまなメディアを駆使してそれを表現する。
(2) 空間デザイン	身体的スケールから環境的スケールに至るまで、さまざまな空間デザインのデザイン手法を学び、手作業からデジタルテクノロジーまでさまざまなメディアを駆使してそれを表現する。

## 3. 卒業研究履修条件

卒業研究に着手するには、3年次終了時までには次の条件を全て満たしていなければならない。

1. 休学期間を除き3年以上在籍していること。
2. 共通基盤科目8単位と2年次までの社会人基礎科目の必修科目及び選択必修科目16単位の合計24単位を修得していること。
3. 3年次配当の以下の社会人基礎科目6単位以上を修得していること。
  - ・キャリア形成及び進路研究2科目4単位
  - ・人間と社会分野の選択必修科目1科目2単位以上
4. 学科専門科目から3年次までの必修科目30単位を含めて50単位以上修得していること。
5. 卒業要件単位 (P.43) 124単位のうち、上記2から4を含めて100単位以上修得していること。

## 4. 総合デザイン学科 カリキュラムツリーの解説

総合デザイン学科のカリキュラムツリーの解説及びツリーを下記に示す。

(1) 合同演習	合同演習では実際に製作物を作っていく中で、他の科目で学んだことを実践で利用し、学生の力として定着することを目指す。デザイン技法、工学手法を織り交ぜ、総合デザインの名に恥じない力を身に付ける。
(2) 講義演習	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. <b>デザイン技法系</b> デザインのための技法を集中して学び、デザイン技法を習得する。3年次以降は学生の希望により空間デザイン、プロダクトデザインそれぞれの分野に分かれてより深い学びに入る。</li> <li>2. <b>メディア表現</b> デジタル技術の進展によりメディアでの表現がデザインにも深く入り込んでいる。ここではさまざまなメディアを使ったデザイン表現を学ぶ。</li> <li>3. <b>CAD系</b> 2次元、3次元のモデルをコンピュータ上で作る技術を学ぶ。この技術は工学的な設計から空間・プロダクトデザインに至るまで汎用的に使える技術である。</li> <li>4. <b>設計系</b> 工学的な設計方法を学ぶ。ものを作るときに具体的にそのものが成り立つようにするにはどうすればいいかを学ぶ。</li> <li>5. <b>電気/情報系</b> 製作物に機能を与える時、電気回路やプログラムが必要になる。ここでは静的な製作物ばかりでなく、動的な製作物の製作に必要な手法を学ぶ。</li> </ol>
(3) 資格取得の対策講座	カラーコーディネーターやインテリアプランナー、CAD利用技術者試験などの資格試験対策を行う。

## 5. 総合デザイン学科 カリキュラムツリー

分野	1年		2年		3年		4年	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
合同演習	総合デザインプロジェクト1A	総合デザインプロジェクト1B	総合デザインプロジェクト2A	総合デザインプロジェクト2B	総合デザインプロジェクト3A	総合デザインプロジェクト3B		
	デザイン表現基礎1	デザイン表現基礎2	デザイン表現1	デザイン表現2	空間デザイン	建築デザイン		
					社会環境デザイン	ランドスケープデザイン		
					プロダクトデザイン	インタラクティブデザイン		
講義・演習								卒業研究 A・B
資格取得の対策講座 (目指す進路)								

\*本枠は必修科目